NISSAY OPERA 2027

日生劇場オペラ教室 2027

日生劇場がお届けする中高生のための芸術鑑賞教室

ポイント1
演目は日生劇場の一般公演と**同じオペラ作品**を**低廉な価格**で**ご提供**

ポイント2
鑑賞対象は**中学生～高校生**

ポイント3
事前学習教材と公演プログラムを**無料**で**提供**

【応募〆切】12月18日（金）

日生劇場オペラ教室とは…

公益財団法人ニッセイ文化振興財団［日生劇場］は、1979年から2013年までの間、中高生にオペラを低廉な料金で提供する『青少年のための「日生劇場オペラ教室」』を開催、累計33万名の中高生にオペラ公演を鑑賞していただきました。2023年にこの事業を再開し、2026年はモーツァルト作曲オペラ『ドン・ジョヴァンニ』を約4,200名の中高生に鑑賞していただきました。今後も、これからの社会を支える青少年の「豊かな情操」や「多様な価値観」を育むために、優れた舞台芸術に触れる機会を提供してまいります。

公演概要・応募方法のご案内

NISSAY OPERA 2027
日生劇場オペラ教室 2027

ドニゼッティ作曲　オペラ「連隊の娘」
全2幕（原語［フランス語］上演・日本語字幕付）

公演日時　2027年
11月10日（水）・11日（木）・12日（金）・15日（月）
各13:00開演

鑑賞対象　中学生～高校生　※本公演は中高生向けですが、一部一般のお客様にもご鑑賞いただく場合がございます。

上演時間：約2時間30分（休憩含む）
料　　金：お一人　1,100円
（税込／生徒・引率者とも同一料金／全席指定）
※お座席は当方にて指定いたします
会　　場：日生劇場：東京都千代田区有楽町1-1-1

◆応募方法◆
以下の「応募先」よりアクセスの上、Webフォームにてご応募ください。
○学校単位（学年・コース・部活単位等も可）でご応募ください。
後日（2027年1月下旬を予定）Eメールにて鑑賞日をご連絡いたします。
school@nissaytheatre.or.jp からのメールを受信できるよう設定をお願いいたします。希望校多数の場合には抽選にて決定いたします。

◆応募〆切◆
2026年12月18日（金）
※〆切に間に合わない場合は、お問い合わせ先までご相談ください。

応募～鑑賞までの流れ

2027年1月下旬（予定）にEメールにて鑑賞日を通知
2月初旬　正式申込書の提出
※ 申込書の提出後、キャンセルはできません。
また、大幅な人数変更は早めのご連絡をお願いいたします。
4月中旬　鑑賞人数の再確認
9月初旬　鑑賞人数の最終確認・請求書発行
10月下旬　公演プログラム・チケット発送

応募先　https://www.nissaytheatre.or.jp/form/operaforyoungaudiences/

日生劇場 NISSAY THEATRE

◆主催・企画・制作／公益財団法人ニッセイ文化振興財団［日生劇場］
◆後援／東京都（2027年度も申請予定）
◆協賛／日本生命保険相互会社

NISSAY OPERA 2027／日生劇場オペラ教室 2027

オペラ「連隊の娘」



**一流のスタッフと
キャストで贈る
傑作コメディオペラ**

全2幕（原語［フランス語］上演・日本語字幕付）
作曲:ガエターノ・ドニゼッティ
台本:ジュール＝アンリ・ヴェルノワ・ド・サン＝ジョルジュ、
ジャン＝フランソワ＝アルフレッド・バイヤール
指揮:原田慶太楼／演出:粟國淳（日生劇場芸術参与）／
管弦楽:東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
上演時間:約2時間30分（休憩含む）



東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
©大窪道治



公演のポイント

- **ドニゼッティによる爽快で華やかなオーケストレーション**
- **超高音や超絶技巧による歌唱で彩られた名曲の数々**
- **気鋭の若手指揮者と日本を代表する演出家により鮮やかに紡ぎ出される恋模様**
  原田慶太楼（指揮）×粟國淳（演出／日生劇場芸術参与）

『連隊の娘』は、イタリアを代表するオペラ作曲家の一人・ドニゼッティによって作曲されたコメディ・オペラです。19世紀初めのナポレオン戦争期のチロル地方を舞台に、連隊に拾われ育てられた娘マリーとチロルの村の若者トニオとの恋物語が、ドニゼッティの爽快で華やかな音楽で描き出されています。ハイCと呼ばれる超高音の連発や超絶技巧による歌唱など、オペラならではの魅力が存分に味わえるナンバーが盛りだくさんで、オペラを初めてご覧になる方にお勧めです。
指揮は、アメリカを中心に近年活躍が目覚ましい期待の俊英・原田慶太楼氏。演出は、日本を代表するオペラ演出家で日生劇場芸術参与の粟國淳が務めます。日生劇場がお贈りするドニゼッティの傑作オペラ『連隊の娘』にご期待ください。

出　演

マリー



砂田 愛梨



小川 栞奈

トニオ



糸賀 修平



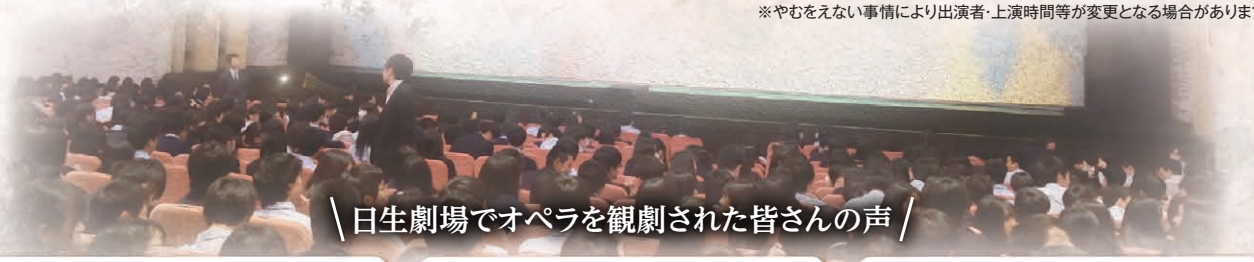
河野 大樹

ベルケンフィールト侯爵夫人　十合 翔子／齊藤 純子
シュルピス　町 英和／北川 辰彦
オルテンシウス　又吉 秀樹／森 翔梧　［ダブルキャスト］

あらすじ

舞台は、19世紀前半、ナポレオン戦争期のチロル地方。幼い頃に両親と生き別れ、アルプスの山で、フランス軍第21連隊に可愛がられて育った少女マリーは、かつて崖から落ちそうになったところを助けてくれた青年トニオと恋をします。トニオはマリーとずっと一緒にいるため、第21連隊に入隊。しかし、そこにマリーの伯母を名乗るベルケンフィールト侯爵夫人が現れ、マリーは夫人とともにパリで暮らすことに。離れ離れになるマリーとトニオの行く末は……？

※やむをえない事情により出演者・上演時間等が変更となる場合があります。



＼日生劇場でオペラを観劇された皆さんの声／

歌、舞台美術、オーケストラの演奏、何から何まで驚きでいっぱいでした。今まで芸術やオペラ鑑賞と聞くと自分とは少し離れたものだと思っていましたが、今回鑑賞してみて、自分にも楽しめるといった感情が湧きました。（中学女子）

初めてオペラを観て、歌でこんなに感情を表現できるのかと、出演者の歌声に圧倒された。言葉の意味は分からなくても、歌い方や表情で登場人物の気持ちを理解できたため、楽しむことができた。（高校男子）

実際に鑑賞したことのない生徒が多かったため、本物に触れる機会を得て感激していました。部活動や進路と関連付けて考える生徒もいました。（高校教員）

※生徒・教員からいただいた声のなかから当財団で抽出・編集して掲載しています。

日生劇場のオペラ公演

日生劇場は、1963年の柿落とし公演ベルリン・ドイツ・オペラの『フィデリオ』上演以来、国内外で活躍している実力派のオペラ歌手やスタッフによる最高水準の舞台芸術を紹介しています。1979年に、日生劇場オペラ教室第1回として上演した團 伊玖磨作曲の『夕鶴』以降、自主制作のオペラを上演しています。1996年からは、オーディションによるキャスト選抜を開始しました。この方式は現在に至るまで継続、所属やキャリアに関わらず、実力のある国内一線級のオペラ歌手に出演していただくことができ、高水準の作品を提供しています。

近年の日生劇場でのオペラ公演

『魔笛』(2018年)、ロッシーニ作曲『セビリアの理髪師』(2016年／2022年)、プッチーニ作曲『ラ・ボエーム』(2017年／2021年)
ドヴォルザーク作曲『ルサルカ』(2017年／平成29年度(第72回)文化庁芸術祭賞優秀賞受賞)
ドニゼッティ作曲『ランメルモールのルチア』(2022年)、ケルビーニ作曲『メデア』(2023年／日本初演)、ヴェルディ作曲『マクベス』(2023年)
ドニゼッティ作曲『連隊の娘』(2024年)、マスネ作曲『サンドリヨン』(2025年、第34回三菱UFJ信託音楽賞受賞)
モーツァルト作曲『ドン・ジョヴァンニ』(2015年／2026年)

ダイジェスト動画公開中







撮影：三枝近志



撮影：寺司正彦

ニッセイ文化振興財団について

当財団は、日生劇場を中心として「すぐれた舞台芸術を提供するとともにその向上をはかり、わが国の芸術文化の振興に寄与する」ことを事業目的として、日本生命保険相互会社の出捐により1973年11月に設立され、2009年11月に公益財団法人へ移行しました。財団設立以来、「届ける(優れた舞台芸術を制作、上演する)」「育む(青少年の豊かな情操を育てる)」「支える(舞台芸術を支える人材を育成する)」という3つの基本理念のもと、活動を行っています。

日生劇場について

1963年10月、日本初の引越し公演となったベルリン・ドイツ・オペラの「フィデリオ」で東京・日比谷に開場。以来、数々のオペラ、演劇、ミュージカル、コンサート等の貸劇場公演に加えて、ニッセイ名作シリーズ、NISSAY OPERA、ファミリーフェスティヴァル等の自らの制作公演も毎年開催し、大人から子どもまで幅広いお客様にご来場いただいています。







【当鑑賞教室に関するお問い合わせ先】
公益財団法人ニッセイ文化振興財団[日生劇場]E-mail:school@nissaytheatre.or.jp
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1−1−1 ／ ホームページ https://www.nissaytheatre.or.jp



会　場　日生劇場：東京都千代田区有楽町1−1−1

地下鉄でご来場の方へ

千代田線／日比谷線／都営三田線　日比谷駅A13出口(階段)より徒歩1分
有楽町線　有楽町駅より徒歩10分
丸ノ内線　銀座駅C1出口(階段)より徒歩10分

JRでご来場の方へ

山手線／京浜東北線　有楽町駅日比谷口より徒歩10分

◆ 貸切バスでのご来場
日生劇場には駐車場・大型バスを駐車できるスペースはございません。
貸切バスでご来場される場合には、日生劇場前または日比谷公園前にて停車・乗降いただけます。
近隣の駐車場をご利用される場合は、バス会社・旅行代理店に手配をご依頼ください。